

同窓会報

令和5年3月13日発行
専修大学北上福祉教育専門学校
同窓会事務局
〒024-8513 岩手県北上市鍛冶町一丁目3番地1
TEL (0197) 61-2131 FAX (0197) 61-2423
印刷：川嶋印刷株式会社

保育科58回生



福祉介護科31回生



同窓会の皆様、昨今のご時世ですがお変わりなくお過ごしでしょうか。
先ずは今年度も本誌、同窓会報誌を発行するに至りご協力頂きました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
なかなかコロナウイルスの猛威は衰えず、施設規模でのクラスター発生のニュースを耳にする度、明日は我が身と思いつつ仕事をしている日々です。
同窓生の皆様におかれましても日頃の業務に加え感染予防の対応に日々奮闘されている事と思います。社会生活の維持になくてはならない存在、エッセンシャルワーカーと言われる保育や福祉の仕事の存在はより高く皆さんに感じてもらえていたのではないのでしょうか。
コロナ禍の影響は物資の不足のみならず、人手不足もあいまって働き手に大きな負担として押し掛かっているように感じます。対人ケアの仕事は体力のみならず時として心の消費も大きいもの、なかなかストレス発散できない日々が続きますが、ぜひとも一呼吸おいて、体だけでなく心の休息も大切にして頂きたいです。
さて、昨今の状況で総会が開けぬまま三年が過ぎてしまいました。この状況を鑑み通常の総会、懇親会の開催は難しい状況にある為、せめて総会だけでも再開できないかと学校側とも協議し、本誌最終稿にもあります通り開催場所を本校の合同講義室をお借りし、学校の見学も兼ねながら総会に参加して頂く方向にまよりました。
なかなか感染者数に落ち着きが見られない中ですが、対策を取りつつ新たに踏み出す事にシフトを始めた世の中と共に、今できる限りの対応を取りながら実施することにご留意を見出したいと思っております。ぜひご参加いただければ幸いです。
最後になりましたが、いつも同窓会のためにご尽力いただいております校長先生をはじめ諸先生方に深く感謝申し上げます。
今後もコロナ禍の収束と、変わらぬ同窓生の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

会報発行に寄せて



同窓会長
石川 仁

学校の最近の様子



新型の大型スクリーンを使って授業



国際交流 本校留学生と専大北上高校生徒との交流



選挙の呼びかけ役に



職業教育・キャリア教育財団 教職員表彰
鈴木早苗先生／熊谷 賢先生



第32回北上市市民芸術祭短歌の集い表彰

令和5年度 同窓会総会ご案内

日時：7月1日(土) 15時～

会場：専修大学北上福祉教育専門学校 合同講義室

3年ぶりに同窓会総会を開催します。今回は懇親会を見合わせ校舎内の見学等を予定しています。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

同窓生数

保育科 3,603名
福祉介護科 1,259名
合計 4,862名
(令和5年3月31日現在)

◎令和4年度の同窓会総会、懇親会は中止と致しました。
◎各支部会も令和4年度の活動はありませんでした。

事務局長		会計監事		副会長		会長	
保育科51回生	福祉介護科19回生	保育科12回生	福祉介護科11回生	保育科12回生	福祉介護科12回生	福祉介護科11回生	福祉介護科11回生
及川 駿	千田 裕之	鈴木 まり子	西岡 瞬	菊地 薫	高橋 妃志子	石川 仁	石川 仁
	都鳥 由香						
	伊藤 歩						
	高橋 佳奈						
	山本 瑞穂						
	菊池 拓真						
	水上 賢一						

専修大学北上福祉教育専門学校同窓会役員



ホームページアドレス <https://www.kitakami-fukushi.ac.jp>
メールアドレス senshu-u-fukusi@themis.ocn.ne.jp

同窓会に期待する事



学校法人北上学園
理事長 宮岡 孝之

同窓会報の第 216号発行を心より喜び申し上げます。私自身、専修大学校友会の副会長を十年間勤めてきました。その活動を通じて、同窓会の基盤は同じ学びの場であるからこそ、初めて会ったその時から、専修大学北上福祉教育専門学校という同質性により親しみをもって話すことが出来ます。ただ、同窓会適齢期というものがあつたようで、就職から時が経ち、ある程度自分の時間を持つことが出来るようになった人が活発に活動している傾向が見られます。社会的に急激に変化している現在、これからの同窓会は若手が容易に参加できる方法を考え

て、若手の参加をどう確保するかが今後大きなテーマになると考えています。例えば、令和五年三月に専修大学北上福祉教育専門学校を卒業した同窓生が、困った時に相談できるシステム等を構築して頂き、同窓会で先輩同窓との接点を増やしてもらえればと考えています。また、専門学校の実習先やボランティア先からは、介護福祉士の待遇改善等に力を入れての発信等もお願いできればと思います。同窓会の活動の中核を担われている石川仁会長をはじめ役員の方々には、これまでの活動に敬意を表するとともに、これからの専門学校の更なる発展のためにご尽力下さいますようお願い致します。

同窓生の皆さまへ



校長 六本木 郁子

令和四年度、保育科は第五十八回生三十七名、福祉介護科は第三十一回生二十九名が卒業し、本校の同窓生は両科合わせて四八六二名となりました。本校の校名は、時代とともに専修大学北上女子専門学校(女専)、専修大学北上保育専門学校(保専)、専修大学北上福祉教育専門学校(KTS)と変わりましたが、両科ともに全ての同窓生の皆さまにおかれましては、それぞれの職場や地域で重責を全うし、ご活躍なされておりますこと、心から敬意を表します。このコロナ禍、それぞれの現場では子ども達・利用者さん達の健康安全を第一に、ご苦労も多いのではと推察いたします。本校でも、予防対策を徹底し、今年度保育科五十六名、福祉介護科二十九名が入学し、在校生百五十三名で新年度がスタートいたしました。

今年度より、SNS(ツイッター)を活用し、母校から一日おきに新しい情報を発信し始めました。日常のさりげないことから、授業や行事の様子まで、写真や時には動画も駆使し、教職員全員で取り組み、ようやく少し慣れてきました。スマートフォンで、HPから気軽に見ていただければと思います。同窓生の皆さまと連携させて頂いている入試制度「同窓生推薦受験生の受験料免除制度」は、二年目になります。卒業に関係なく、入学願書に同窓生の氏名、推薦理由や受験生との関係、卒業証書番号等の必要事項を書いて頂くことで、受験生の受験料二万円が全額免除となる制度です(AO入試以外が対象)。今年度も、親子、兄弟姉妹、親戚、地域の方、知人、後輩等を、多くの同窓生の方に推薦頂きました。今後とも、機会がありましたら、保育・介護の分野、本校の紹介をお願い頂ければ幸いです。一日も早く、同窓生の皆さまが家族や友人と一緒にわいわいと学園祭等に気軽に来られるような日が来ることを、心待ちにしております。同窓生の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念すると共に、これからも、母校への更なるご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。結びといたします。

令和三年度卒業生から

子どもも私も日々成長!



保育科57回生 池田 結衣

私は現在、認定こども園に勤務しています。実習を経験したとはいえ、やはり初めの頃は分からないことばかりで、緊張で胸が張り詰めた状態で一日が始まり、仕事に行くのがつらいと感じることもありました。しかし、園の流れにも慣れてきたとき、子どもたちは私にいつも明るく元気に「ゆい先生!」と声をかけてくれ、私の緊張を意図せず解いてくれていることに気がつきました。そして子どもたちは毎日成長を見せてくれます。遊びの中で試行錯誤し、失敗して、もう一回挑戦して...小さな手や身体を一生懸命動かして取り組む姿に、本来それを援助しなければいけない私のほうが毎日勇気をもらっていました。そんな子どもたちの笑顔に癒やされたい。生活を楽しく毎日何かを得て帰ってほしい。子どもたちがあらためて、私にここに来る意味を示してくれました。

こうしてやる気を取り戻した私でしたが、そのやる気は見事に空回り、失敗の連続の日々でした。そんなとき、先輩の先生が、「失敗しなきゃ分らないこともある!」「失敗は次に活かせばいいのだから、まずやってみよう!」と、背中を押してくれました。試行錯誤し、失敗して、もう一回挑戦して...、保育教諭の立場である私も、子どもたちと全く変わらない。失敗から学ぶことを繰り返して成長していくことが大切なのだ日々痛感しています。そして、子どもたちにもそれぞれ個性があるように、先生たちにもその先生だけのカラーがあります。同じ造りのはずの保育室も、それぞれの先生のカラーが映し出され、全く違う部屋に見えます。しかし、どのクラスの子どもも確実に成長しています。私も先輩方のように、私だけのカラーを見つけれられるよう日々試行錯誤し、子どもたちと一緒に成長していきたいと思

介護福祉士として



福祉介護科 30回生 多田 滢 李

私は現在、北上市の軽費老人ホームで働いています。入社した当初は、分からない事だらけで仕事を覚えるのに必死でした。「ゆつくり覚えていんだよ。」と先輩職員に言われた時は嬉しく少しホッとしました。日々の業務の中では専門学校で学んだ知識や技術を活かし入居者様と関わっています。仕事に慣れ始めていくと時間や心に余裕が持てるようになり入居者様とよりコミュニケーションがとれ信頼関係が築けていると感じます。

また、入居者様からの感謝の言葉、笑顔を見ると介護福祉士になって良かったと感じます。入居者様との関わり方や介助の仕方は全て異なります。先輩職員からの助言、指導をいただき実際に実践し毎日楽しく学んでいます。小学校の頃から「介護福祉士になりたい」と今まで思い、働き始めてもうすぐ一年になります。小学校からの夢を諦めることなくこの道に進むことができてとても嬉しいです。これからは、入居者様とのコミュニケーションをかかさず親身に寄り添い安心して生活できるように努めていきます。また、今年から入居者様の受け持ちをさせていただくので本人の思いやご家族様と関わりを大切にしていきたいです。さらに、自分自身の成長のため実務研修や実地研修を重ねパワーアップした介護福祉士になりたいと思います。



- 1 うれしたのしだいすき (保育科)6月開催
- 2 地域交流 SVきたかみ (福祉介護科)12月開催
- 3 日本語学習の様子 (福祉介護科留学生)
- 4 学園祭 9月開催
- 5 北上みちのく芸能祭り 市民パレード参加 8月開催
- 6 ハロウィン 認定子ども園専修大学北上幼稚園の園児と交流 (保育科)
- 7 SDGs学習の様子 (福祉介護科)
- 8 夢のキラキラ音楽会 (保育科) 11月開催
- 9 調理実習の様子 (福祉介護科)

卒業生の就職先状況

